

知ってください！

発達障がいのこと

保護者の育て方、本人のわがままや努力不足が原因で起こるものではありません

～正しい理解で、みんなでサポート～

発 達障がいには様々な特性があります。「会話になりにくい」「ある特定分野の興味が極端に強い」「友達とうまく遊べない」「集中できない、じっとできない」「場の雰囲気を読めない」など、誰にでもあることですが、「発達障がい」の場合があります。現れ方も多様で、それぞれ子どもも保護者も困難を感じています。このパンフレットは、市民一人ひとりが発達障がいについて正しい理解をし、早い時期から適切な配慮をしていただけることを願って作成しました。

人との接し方、ルール
を察するのが苦手

特定分野への知識、
興味が強い

会話がかみ合わない、言葉
の使い分けなどが苦手

読み、書き、
計算などが
極端に苦手

注意を向けたり、集中
するのが苦手



困った子ではありません！

困っています！



・・・発達障がいとは・・・

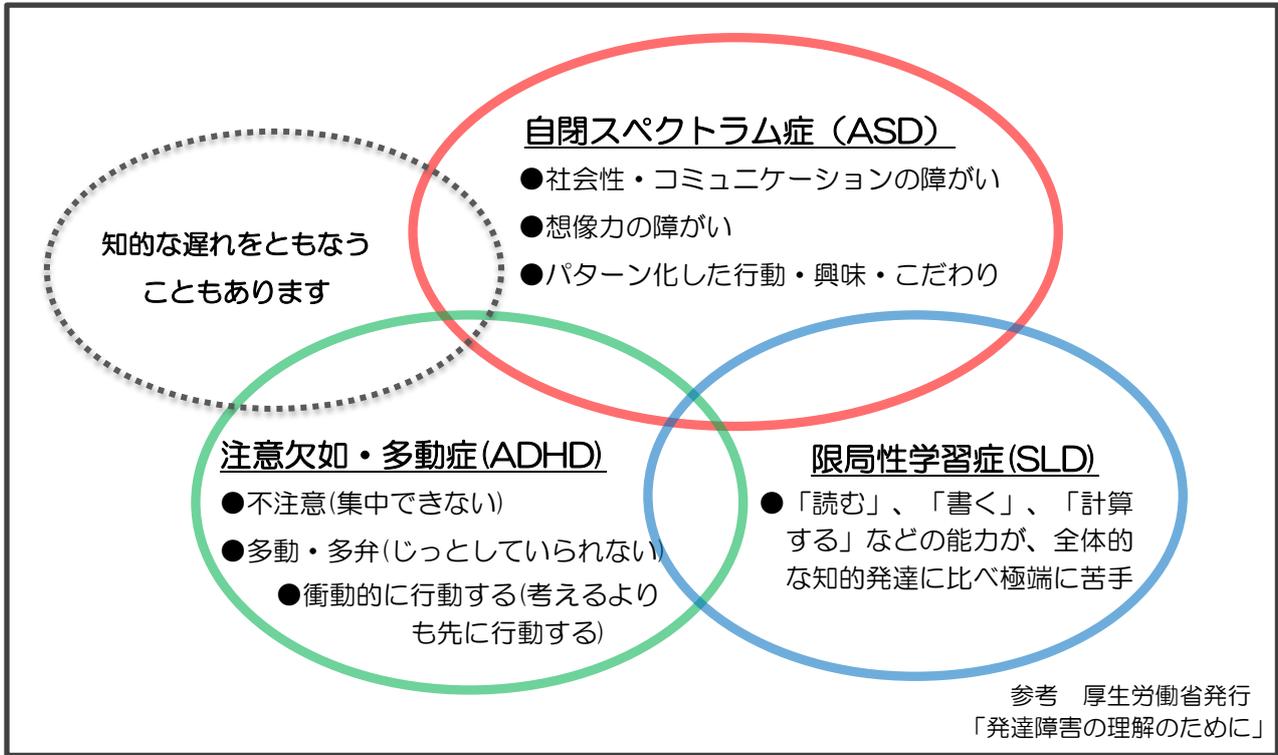
原因はまだわかっていませんが、生まれながら脳の機能に何らかの障がいが生じているといわれています。生活の中での困りごとはそれぞれ違いますが、得意なことと苦手なことの差が大きく（アンバランス）、理解されにくい障がいです。

「発達障がいの特性とは」

発達面の障がいは、病気ではないので、「症状」ではなく、生まれつきもっている「特性」と呼びます。

発達障がいの特性

自閉スペクトラム症(ASD)、限局性学習症(SLD)、注意欠如・多動症(ADHD)など、主な発達障がいの特徴を下図で紹介いたします。なお、発達障がいは、複数の障がいが重なって現われることもあり、障がいの程度や年齢(発達段階)、生活環境などによっても特性は違ってきます。発達障がいは多様であることをご理解ください。



就学前



集団行動が始まり、社会のルールを理解したり、友達と一緒に遊んだり社会性の発達が進んでくる時期です。また、ひととおりの生活習慣が身について、身の回りのことが一人でできるようになってきます。

※これは、あくまで一例です

友達とうまく遊べない
(一人遊びや
トラブルが多い)

支援のポイント

- 大人も一緒に遊んで、人への関心を育てる。「かして」「ありがとう」などの良い見本を見せて、友達との関わり方やルールを教える。

目が離せないほど
落ち着きがない

支援のポイント

- 危険な場所や物は、入ったり触ったりできないようにする。身の回りの物を減らし、整理・整頓しておく。
- 「走らないで！」ではなく、「手をつないで歩こうね」など、具体的にどうしたらいいか伝える。

はじめての場面や
急な予定の変更で混乱

支援のポイント

- どんなことがあるかを前もって伝えたり、一緒に下見に行くなどして、見通しが持てるようにする。
- 予定の変更もあらかじめ伝えておく。

音やにおいに敏感

支援のポイント

- いやがることは、無理強いしない。耳せんをするなどの工夫をする。

学齡期



学習や友達との遊びを通して、さまざまな知識や体験、社会的なルールを身につけていきます。中高学年になると、抽象的・客観的に物事を見ることができるようになる分、学習面や友達関係などでつまづきやすい時期でもあります。

※これは、あくまで一例です

場の空気（雰囲気）が
読みにくい

支援のポイント

- 言葉やイラストなどを使いながら、相手の気持ちや状況を具体的に説明し、暗黙の了解など目に見えないルールを教える。

授業中、集中できない
じっとしてられない

支援のポイント

- 気が散ってしまいやすいもの（掲示物などの「見えるもの」・他のクラスの音など「聞こえるもの」）を減らし、集中しやすい環境をつくる。
- 先生の手伝いをするなどで、身体を動かすとともに、子どもが「できた！」と達成感を感じられる時間をつくる。

忘れ物、
なくし物が多い

支援のポイント

- 持っていく物を決まった所にメモする習慣をつける。
- 物の置き場所をわかりやすく決めておく。
- 写真や文字で、どこに何が置いてあるかをぱっと見てわかるようにしておく。

青年期・成人期

人とのつきあいや仕事・外出など、社会参加の機会が大きく広がり、また周りから求められることも増える時期です。自分自身で決められる範囲が広がる分、それにとともなう責任も大きくなってきます。

※これは、あくまで一例です

学校や職場での人間関係
がスムーズにいかない

支援のポイント

- どのようにふるまえば良いか具体的に例を示しながら説明する。
- おだやかに静かな声で伝える。

仕事や勉強が
うまくこなせない

支援のポイント

- やることを紙に順番に書くなどスケジュールの見通しが持てるようにする。勉強や仕事をする場所には、必要なものだけを置く。
- 何が得意で、何が苦手かを知る。苦手な分野（計算・読み書き・接客など、人によってさまざま）で無理をさせないようにする。

お金の管理が
うまくできない

支援のポイント

- お金の使い道を、他の大人と前もって決めておく。
- キャッチセールスなどへの対応の仕方を決めておく。

情報・相談機関のご案内

発達障がいについての詳しい情報

発達障害情報・支援センター



発達障害情報・支援センター

検索

大阪府 ええやんちがっても ～広汎性発達障がいの理解のために～
ええやんちがっても 青年・成人版 ～広汎性発達障がいの理解のために～



アクトおおさか

検索

アクトおおさかのホーム
ページ内にあります

市内の発達支援に関する相談

機関名	内容	連絡先
泉大津市立児童発達支援センター 『にじっこ』	発達に関する相談、福祉サービスに関する相談	0725 (51) 7002
子育て応援課	発達に関する相談、子育てや子育てサービスに関する相談	0725 (33) 1131 (代表)
こども育成課	保育所・幼稚園・認定こども園に関する相談	
障がい福祉課	福祉サービスに関する相談	
教育委員会 指導課	学校生活や就学・進路などに関する相談	
教育支援センター		0725 (31) 4460

問合せ：泉大津市役所 子育て応援課（市役所 1 階 3 番窓口）

☎ 0725 (33) 1131(代表)

月～金曜日の午前 8 時 45 分～午後 5 時 15 分

（祝日、年末年始を除く）

